



JAPAN EMF INFORMATION CENTER

電磁界情報センター 平成26年度業務実績の概要

電磁界情報センター

平成26年度情報調査業務の概要(1/3)

1. 情報収集・調査

1-1. 電磁界関連情報(1次情報)の収集

- 新聞記事検索会社、コンサルタント会社等への委託契約による情報収集および職員による市民団体機関誌購読、イベント参加などによる情報収集
(報道記事約70件、研究動向約900件、社会動向約50件収集)

1-2. 1次情報の詳細調査

- 職員、コンサルタント会社等による文献調査、関係者インタビュー、現地調査
(実績)
 - フィンランド、スウェーデンにおける磁界規制等現地調査
 - フランスで発行されている一般向けパンフレット等
 - フランスにおける高周波電磁界に関する法律

平成26年度情報調査業務の概要(2/3)

2.情報整理・評価

2-1.電磁界データベースの整備

- 学術論文や社会動向情報の登録約1,200件(累計13,764件)
(学術論文はEMF-portal今年度新規追加情報が対象)
〈H27.3.12現在〉

2-2.海外機関との連携(詳細別ページ)

- 電磁界資料に関する世界最大レベルのデータベースである“EMF-portal”を構築しているドイツ・アーヘン工科大学と、データベース構築作業の連携に関する契約を締結した(H26年9月)。
- 来年度早々のWeb公開に向け、既に“EMF-Portal”に登録されている情報の日本語訳を実施。
(用語集:約3,000件(完了)
タイトル:約8,500件(約20,000件中)
詳細情報:約500件(約5,000件中))

平成26年度情報調査業務の概要(3/3)

3. 磁界レベルに関する調査

- 磁界測定プロジェクトチームで検討および実施（[詳細別ページ](#)）

3-1. IHクッキングヒーターから発生する磁界測定・分析ならびに学会発表

- ・学会発表予定

電気学会全国大会(H26.3.26予定)

BioEM2015(H26.6.14～19予定:アメリカ)

3-2. 電力設備から発生する磁界測定

- ・昨年度実施した電力設備から発生する磁界の測定結果について
HP公開

平成26年度情報提供業務の概要(1/3)

1. 情報提供ツールの整備

1-1. ホームページによる情報提供

- ・ 最新情報の随時提供(3/10現在：更新回数70回)

1-2. パンフレットの適宜改訂

- ・ 新規情報に対し都度パンフレットの改訂を実施した。
 - ・ ジェイク君のなっとく！電磁波（7月改訂）
 - ・ 子どもの健康と電磁波「電磁波は危ないの？」（11月改訂）
 - ・ WHOファクトシート集（10月改訂）

1-3. ニュースレター・メールマガジンの発行

- ・ 2か月に1回ニュースレターを発行(通算37号発行)

平成26年度情報提供業務の概要(2/3)

2. 双方向コミュニケーションの実践

2-1. 問い合わせ対応(詳細別ページ)

- 電話、メール、Fax、来所などでの電磁界の健康影響に関する問合せに対応
(H25年度:921件(平均76.8/月))
→H26年度:873回(平均79.4件/月)(2月末現在)

2-2. 電磁波セミナーの開催(詳細別ページ)

- 全国10箇所です計10回開催

2-3. 階層別啓発活動の検討と実施(詳細別ページ)

- 学校保健、衛生学関係の学会、研究会へ出展、ランチオンセミナー、
広告等を実施

2-4. 要請による電磁界説明会(詳細別ページ)

- 教育関係者、自治体関係者、事業者、各種団体への電磁界説明を実施

平成26年度情報提供業務の概要(3/3)

3. リスクコミュニケーション促進活動

3-1. 情報の送り手を対象としたリスクコミュニケーション研修の実施

- ・ 事業者電磁界担当者を対象としたリスクコミュニケーション講演会を実施した。
- ・ リスクコミュニケーションの基本的内容がテーマ

3-2. 磁界測定器の貸出状況([詳細別ページ](#))

- ・ H26年度約190件の貸出(H26.2末現在)

4. 国際貢献

4-1. ITU(国際電気通信連合:国際連合の専門機関)がWEB上に提供している電磁界教育ツール(ITU EMF Guide)においてNGO区分で紹介。

4-2. 海外行政機関等からの訪問

- ・ ANSES(フランス食品・環境・労働衛生・安全庁)
- ・ IEEE ICES(International Committee on Electromagnetic Safety)

平成26年度管理業務の概要

1. 賛助会員の獲得

- ・ 新規会員1件(3号会員1件)の入会を得た。
- ・ 退会会員2件(2号会員1件、3号会員1件)
- ・ 総会員数は1号会員1件、2号会員15件、3号会員73件

2. 各種委員会の開催

- ・ 運営委員会2回(平成26年10月27日・平成27年3月13日)実施。

3. 規程類の検討・整備

- ・ 業務マニュアル8件を整備した。

4. 業務効率化

- ・ 経理ソフトの改良14回により業務削減に努めた。

5. センター内教育の企画・実施

- ・ 新規出向職員への導入教育実施(2名)

詳細説明

1. EMF-Portalへの参画について
2. 磁界測定プロジェクトチーム
3. 問い合わせ対応
4. 電磁波セミナーの開催
5. 階層別啓発活動の検討と実施
 - ・依頼講演、ランチオンセミナー、妊婦の知識啓発
6. 磁界測定器の貸出状況

1. EMF-Portalへの参画について(1/2)

○EMF-Portal参画： 2014年9月

※EMF-Portal 電磁界に関する一般向けの広範囲なデータベース

(登録件数 約20,000件 内約5,000件詳細情報掲載: **世界最大規模**)

・アーヘン工科大学(ドイツ)医学部病院

職業病医学研究所生体電磁気相互作用研究センター(*femu*)が運営

○日本語版運用開始予定: 2015年6月～

○電磁界情報センターが実施する作業

・既登録情報の翻訳および最新情報の翻訳

(進捗状況(既登録情報翻訳))

作業内容	最終	2015年3月	終了予定
用語集の翻訳	約3,000語	完了(100%)	—
Web記載内容翻訳	—	50%	2016年3月
論文タイトル翻訳	約20,000件	約8,500件(40%)	2019年9月
論文詳細情報翻訳	約5,000件	約500件(10%)	2019年9月

※ 当初は用語集、既登録学術論文の一部情報および最新情報等で運用開始

(日本語版用の新システム及び新Webページの開発はアーヘン工科大学が担当)

1. EMF-Portalへの参画について(2/2)

○ 日本語版イメージ(作成中)

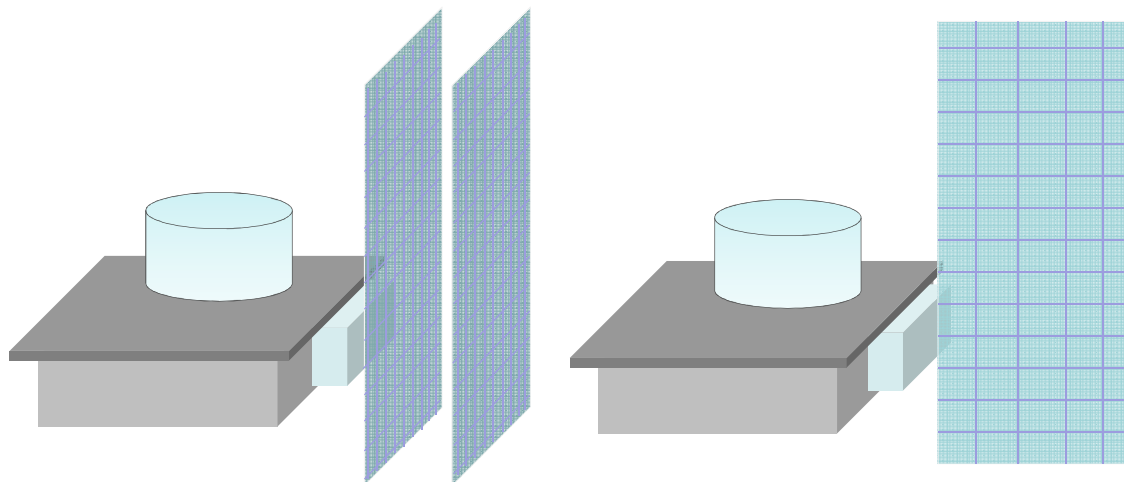


2. 磁界測定プロジェクトチーム(1/2)

IH調理器から発生する磁界測定

- ・測定実施: H26年12月(日本製のIH調理器)
- ・測定内容: 鍋の材質(鉄、アルミ)、サイズ(直径110mm~300mm)別の測定
一般家庭で想定される使用条件下(鍋のずれ等)での測定
調理者の立ち位置での磁界空間分布測定
- ・結果: すべての測定条件において、国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)ガイドライン(一般公衆)磁界参考レベル以下であることを確認
- ・報告等: 電気学会全国大会(H27.3)、BioEM2015(H27.6)において
学会発表予定。その後、電磁界情報センターHPで紹介を予定。

○測定のイメージ(空間分布の測定)



IH調理器に対して鉛直方向、
水平方向(調理器前面及び30
cm)にメッシュ状の測定を行
い、磁界の空間分布を測定。

2. 磁界測定プロジェクトチーム(2/2)

電力設備から発生する磁界測定

- 2011年に改正された「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「解釈」に示された測定方法で測定した測定値をホームページで紹介

HOME > 研究提言・学会発表・調査報告

電磁波とは 変電所・送電線 TV・ドライヤー・掃除機 IH調理器・電子レンジ 携帯電話 鉄道・新幹線 その他の発生源 電磁(波)過敏症

電磁界情報センター
センターのご紹介
賛助会員お申込み
お問い合わせ先
リンクについて

センターの活動
イベントの開催・記録
電磁界情報データベース
勉強会等への講師派遣
磁界測定器の貸出
研究提言・学会発表

その他
リンク集

電磁波の健康影響
電磁波って体にどんな影響があるの？
動画で楽しく学ぼう！
視聴はこちら>>>

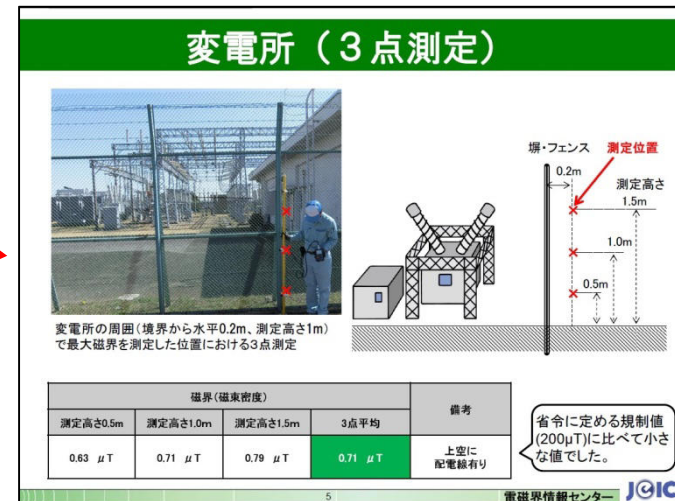
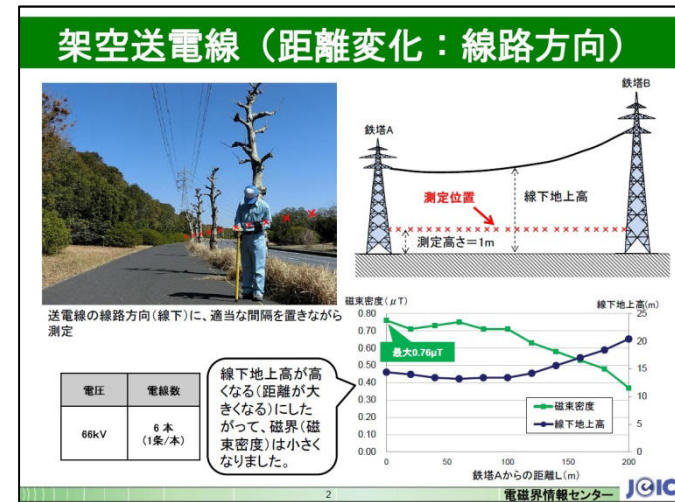
シェイクくんのなっとく！
電磁波
よくある質問と回答
報道解説
身のまわりの磁界の大きさ

研究提言・学会発表・調査報告

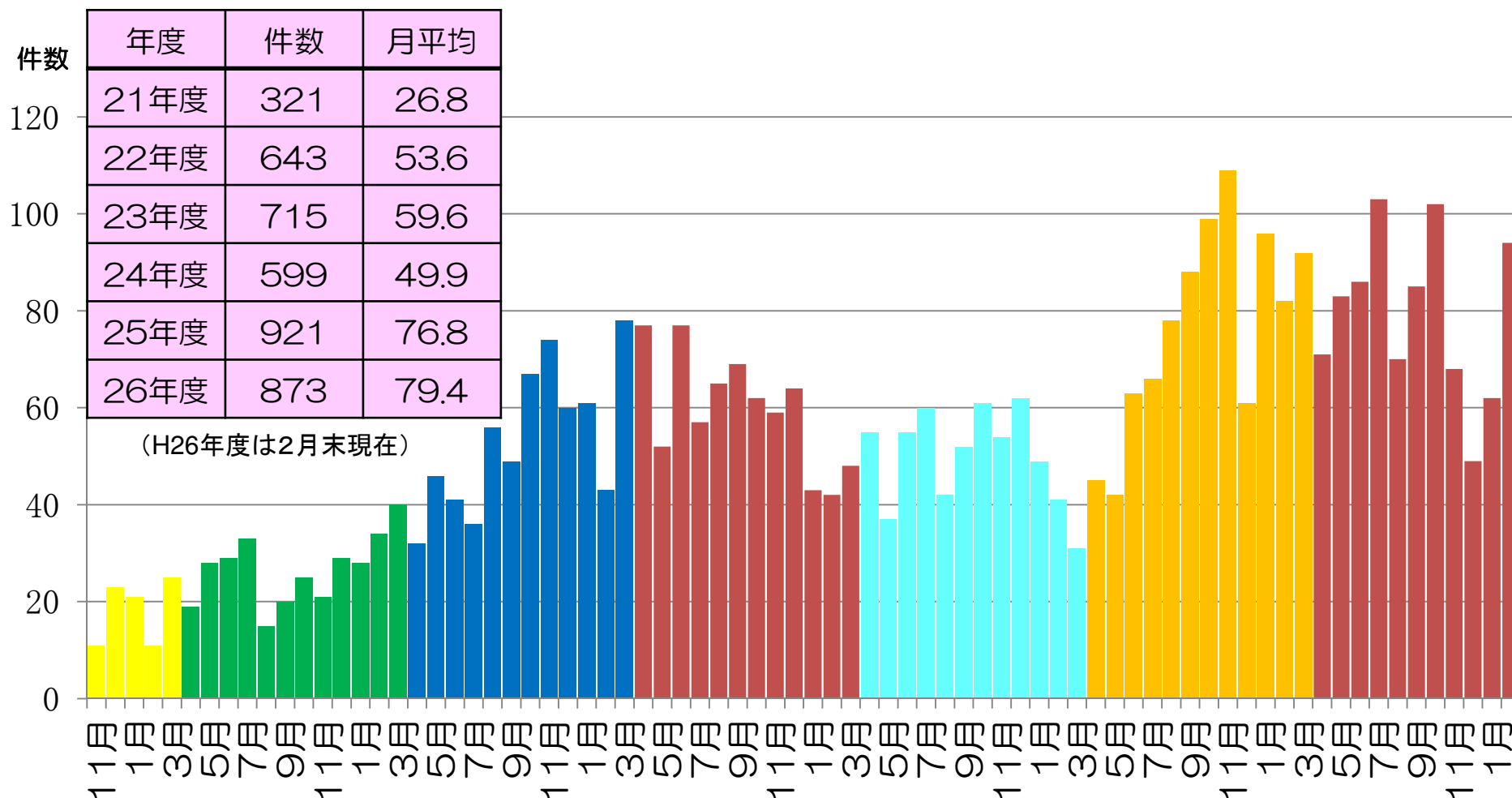
研究提言
2012年11月1日
超低周波磁界ばく露と小児白血病発症に関する研究提言

学会発表
2015年2月24日
自動車用急速充電器から発生する磁界の測定
2013年3月24日
日本における居住環境中の超低周波磁界ばく露による小児白血病発症数の推定
2013年3月21日
定速走行時の自動車内における磁界の測定
2011年9月22日
太陽光発電システムから発生する静電界及び商用周波数磁界

調査報告
よく問合せを受ける内容についてセンターで調査した結果を紹介しています。
2015年2月18日
電力設備からの磁界測定結果



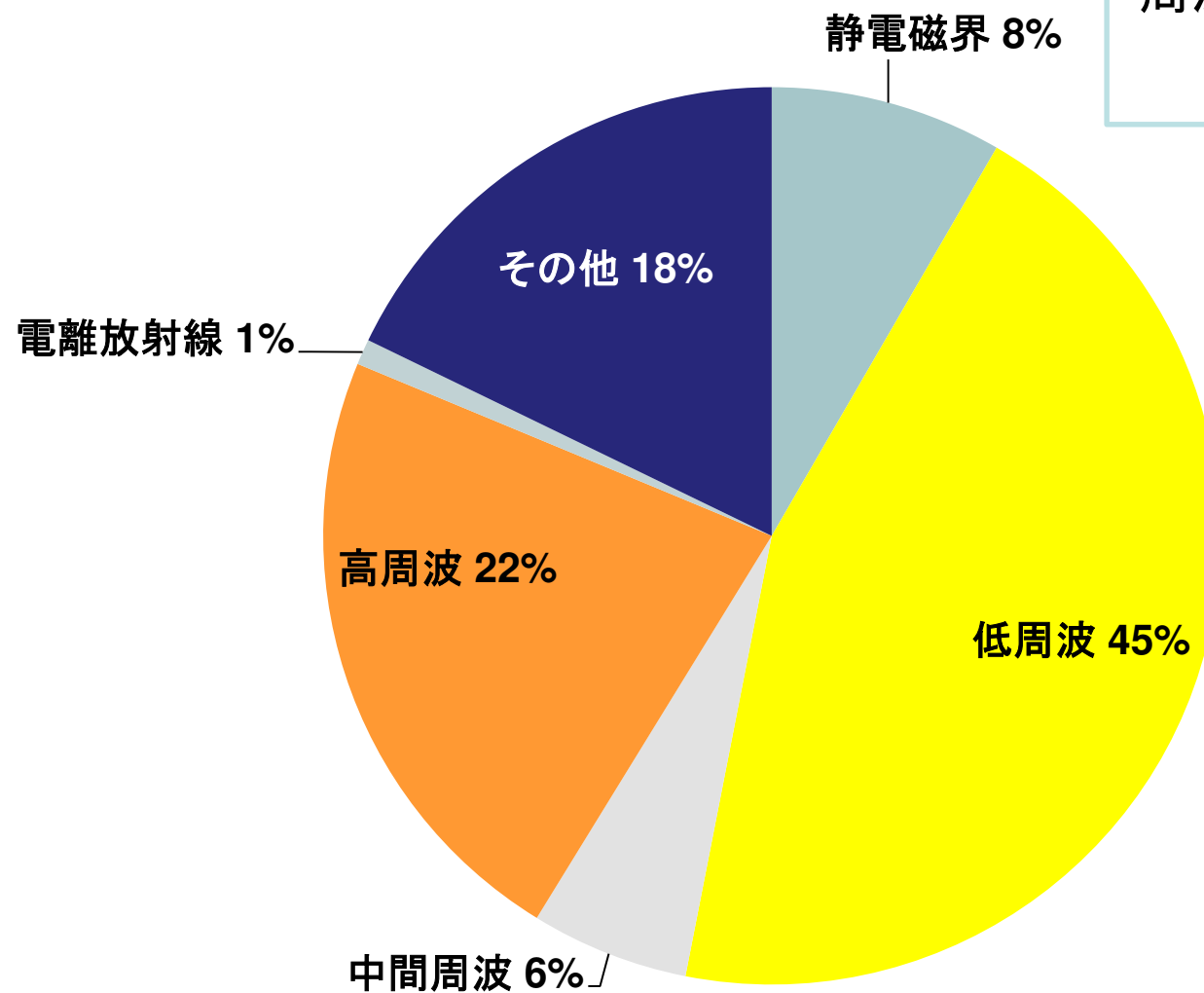
3. 問い合わせ(1/4)



平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度

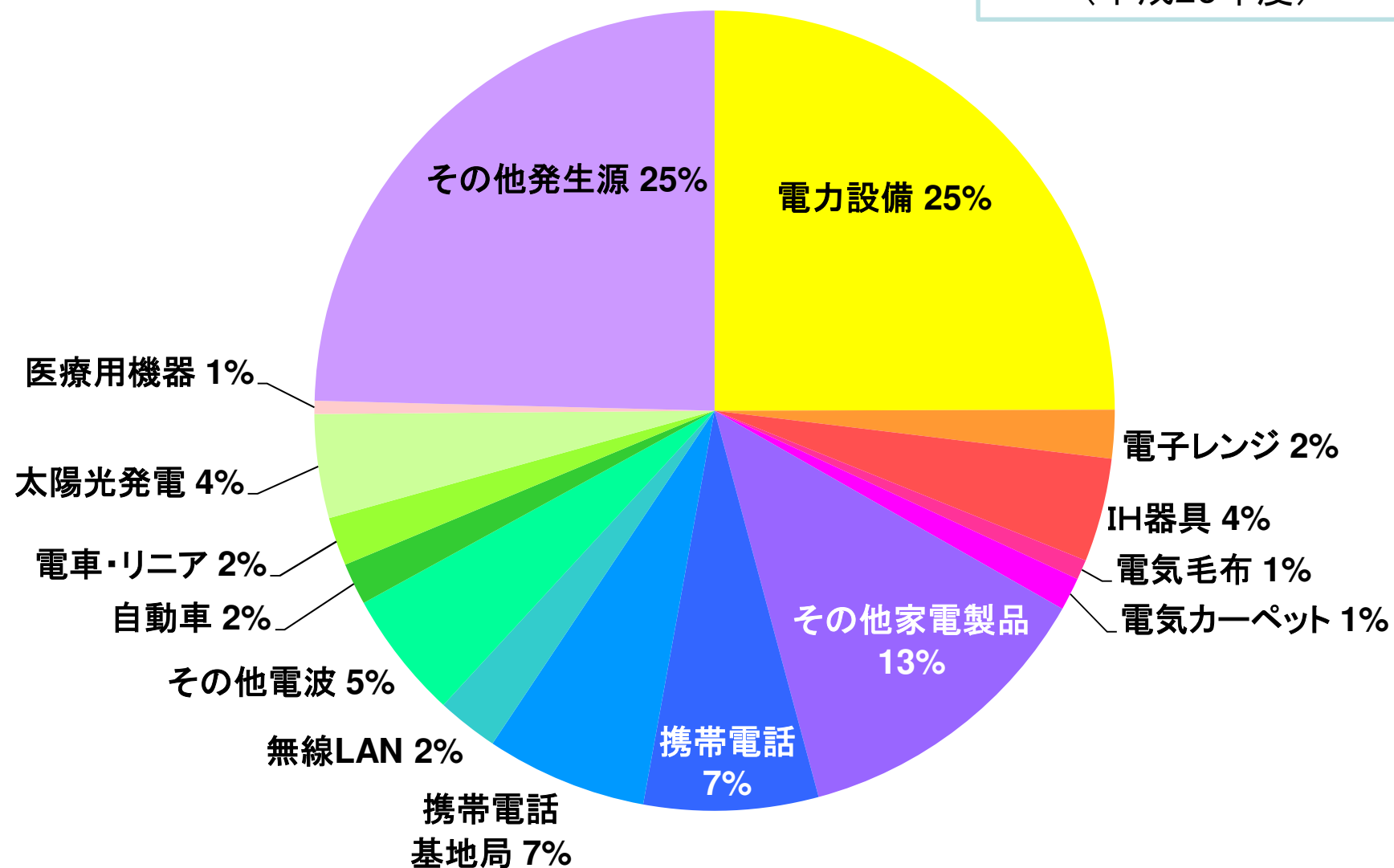
3. 問い合わせ(2/4)

周波数別問合せの割合
(平成26年度)



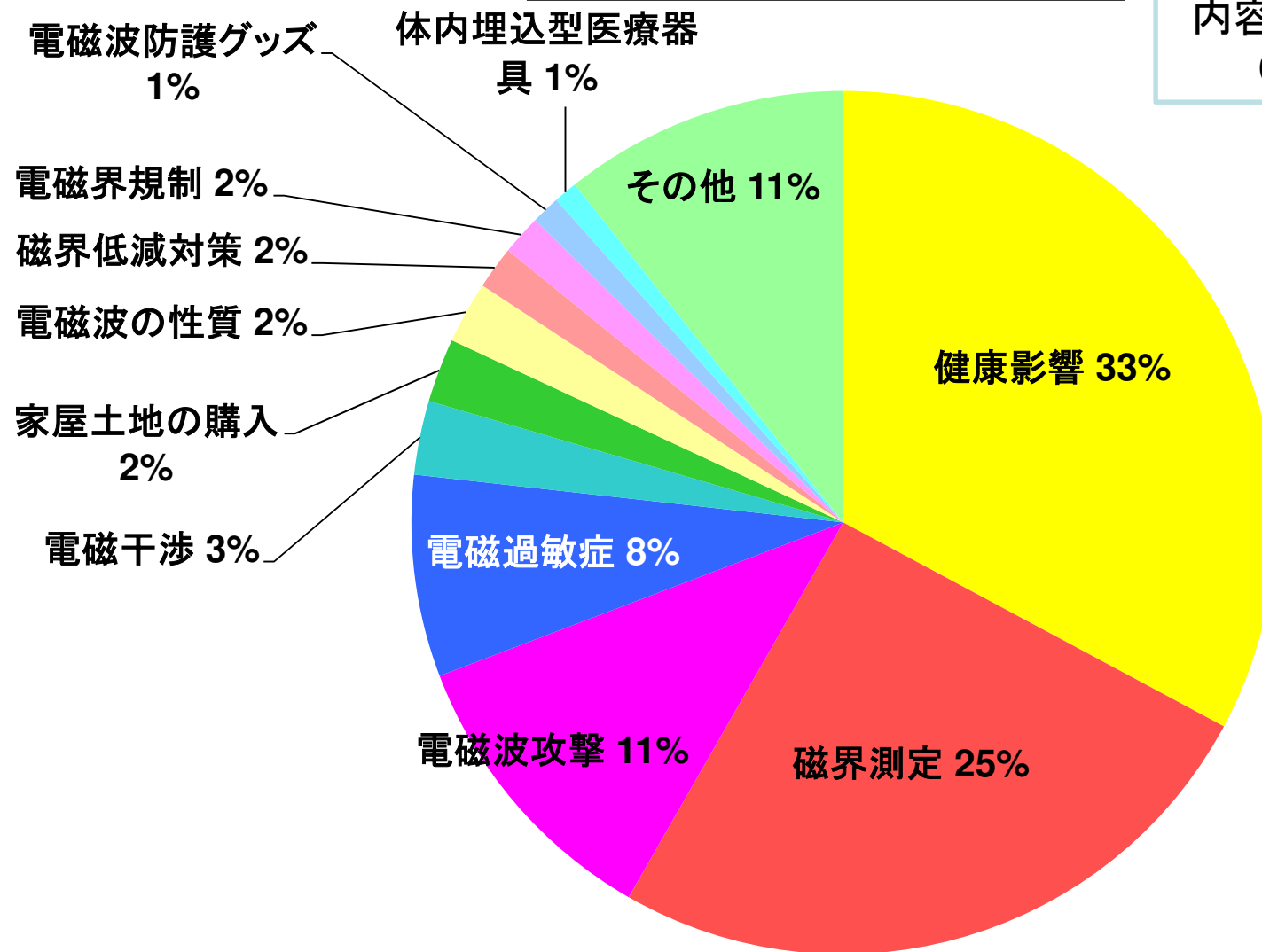
3. 問い合わせ(3/4)

発生源別問合せの割合
(平成26年度)



3. 問い合わせ(4/4)

内容別問合せの割合
(平成26年度)



4. 電磁波セミナー（初級者向け説明会）の開催

〔H26年度実績〕

・計画通り全国各地で10回開催（参加者合計：286名）

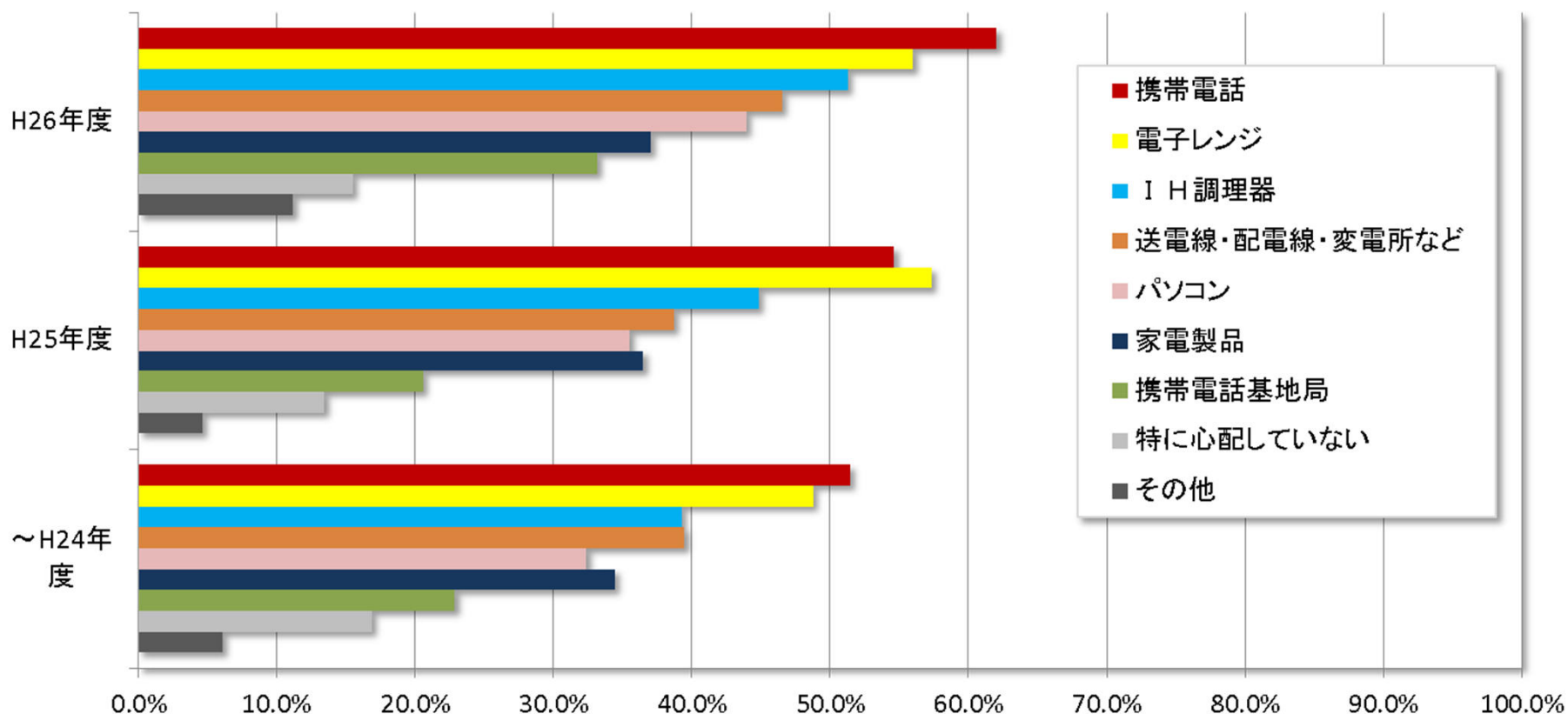
開催月	開催都市	参加者数	開催月	開催都市	参加者数
4月	小松	19名	7月	四日市	44名
4月	長岡	24名	7月	水戸	24名
5月	佐賀	16名	8月	江別	18名
5月	宇部	21名	2月	浦添	45名
7月	和歌山	29名	3月	今治	46名
合 計					286名



4. 電磁波セミナーのアンケート結果(1/4)

● 心配している電磁波の発生源

アンケート回答者のうち、各発生源について不安に思っている方の割合



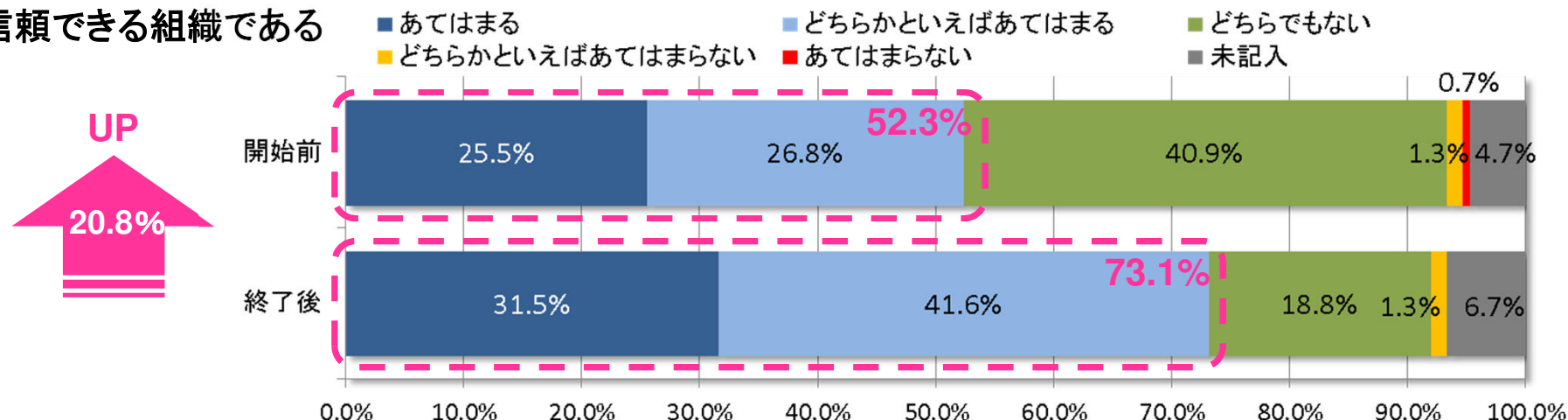
※H27年2月までに開催したセミナーまで集計。また、回答は複数選択可能。

4. 電磁波セミナーのアンケート結果(2/4)

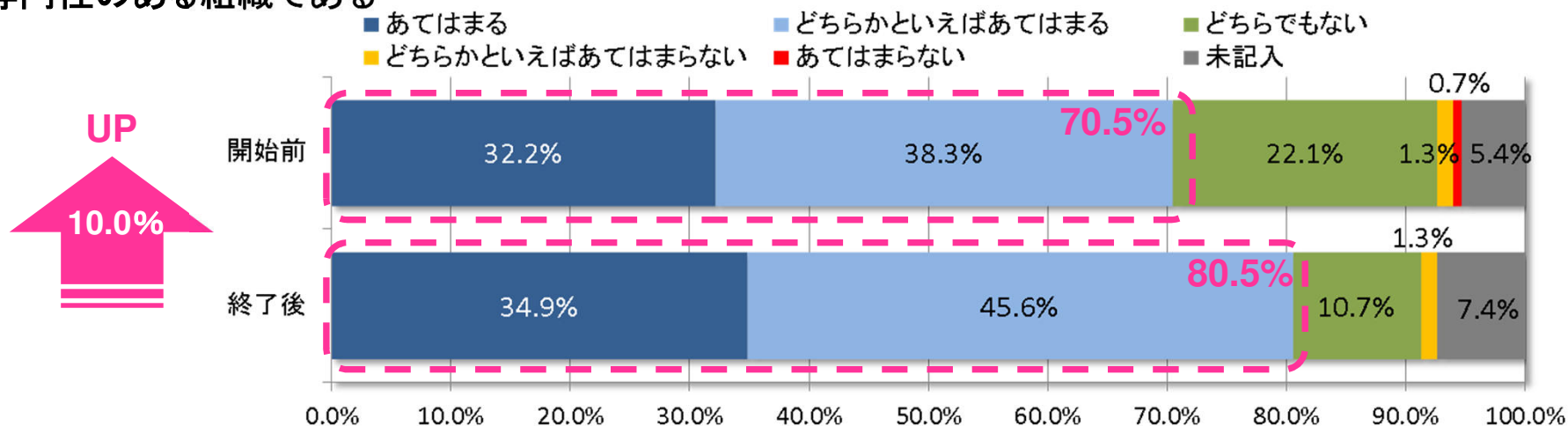
● セミナー開始前・終了後の印象変化

Q. 電磁界情報センターにどのような印象を持っていますか(持ちましたか)

①信頼できる組織である



②専門性のある組織である



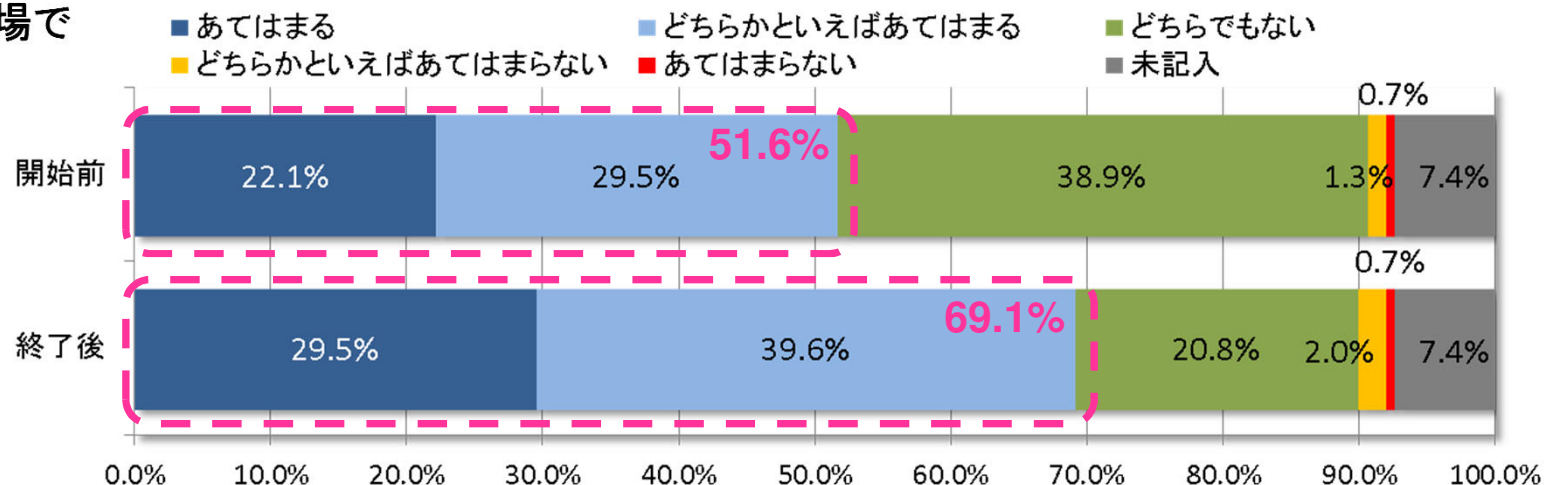
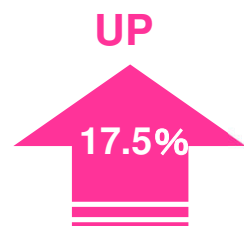
※以降のアンケート結果は、H26年5月～8月までの間に開催したセミナーのものを集計。

4. 電磁波セミナーのアンケート結果(3/4)

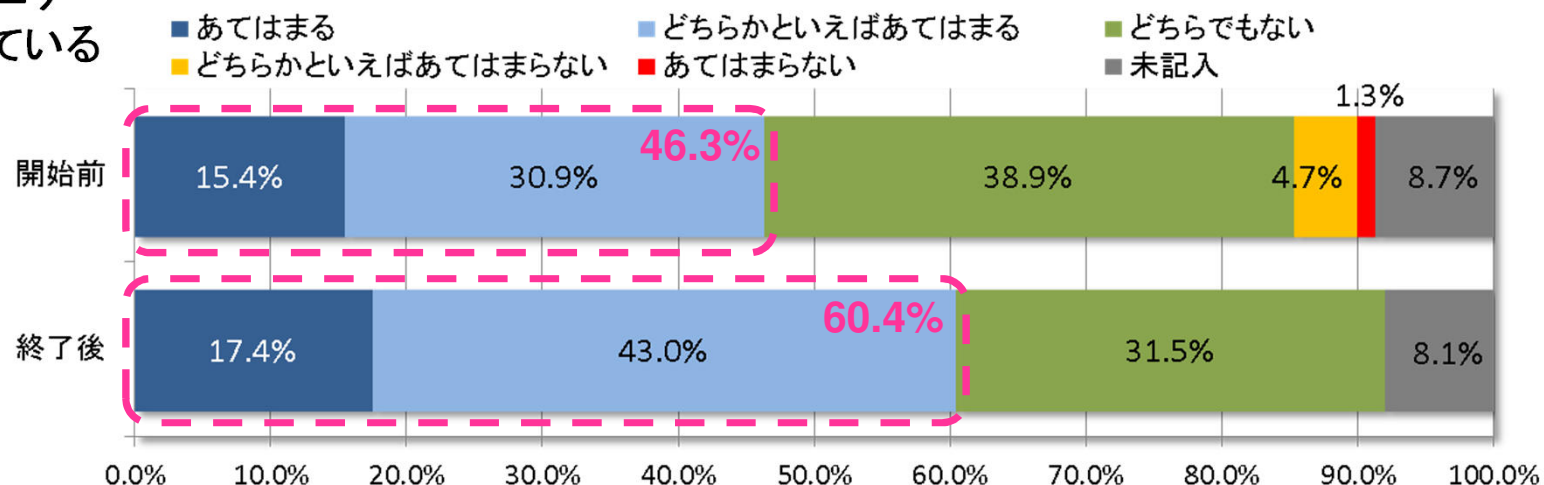
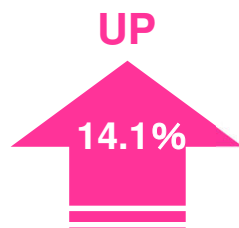
● セミナー開始前・終了後の印象変化

Q. 電磁界情報センターにどのような印象を持っていますか(持ちましたか)

③公正・中立な立場で
情報提供している



④市民とのコミュニケーションを大事にしている



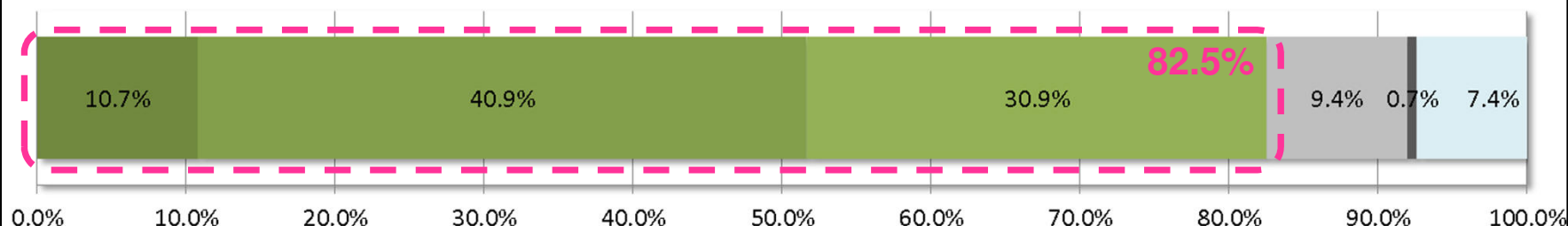
4. 電磁波セミナーのアンケート結果(4/4)

● 全体満足度

Q.今回ご参加いただいて、全体として満足いただけましたか。

非常に満足、満足、どちらかという満足をあわせると82.5%が満足されている

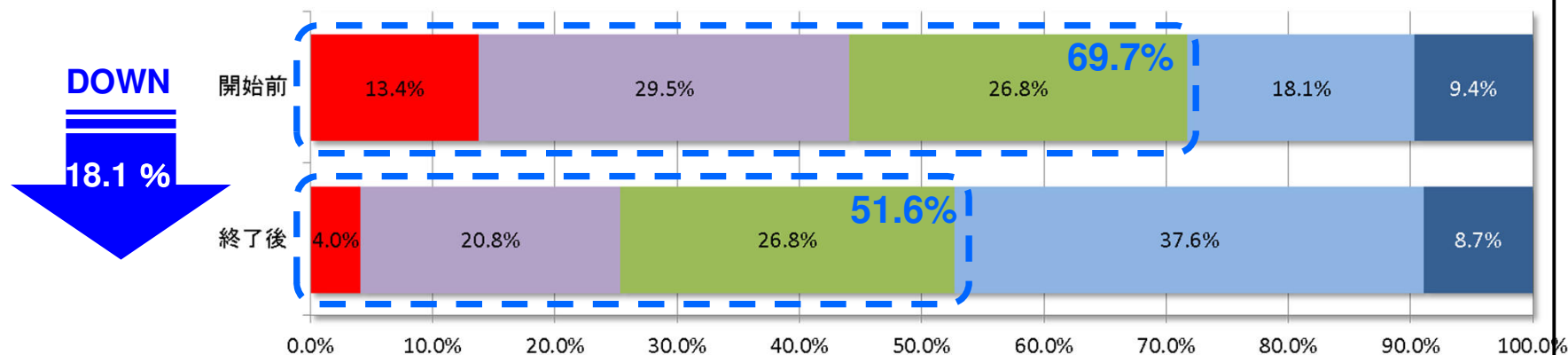
■ 非常に満足している ■ 満足できた ■ どちらかという満足できた ■ 満足できなかった ■ 全く満足できなかった ■ 未記入



● 心配度の変化(セミナー前後)

Q.今、あなたは、電磁波の健康影響についてどのように感じますか？

■ 非常に心配 ■ 心配 ■ どちらかといえば心配 ■ 心配でない ■ 全く心配でない



5. 階層別啓発活動の検討と実施(1/5)

〔活動趣旨〕

- ・ 対象の関心にあわせた講演会・説明会を開催し、特定の課題解決や業務等へ活用頂くことを目指す。

〔H26年度の活動実績〕

(1) 教育関係者（[詳細別ページ](#)）

- ・ 学校保健関係学会・大会への参加回数増加
(H25年度:15回 (ランチョン・出展・広告・折込回数)→H26年度:21回)

(2) 衛生関係者（[詳細別ページ](#)）

- ・ 公衆衛生関係学会・大会への参加回数を増加。
(H25年度:6回 (ランチョン・出展・広告・折込回数)→H26年度:13回)

(3) 個別要請による講師派遣（[詳細別ページ](#)）

- ・ 各種団体からの要請により講師派遣を実施。
(H25年度:20件→H26年度:26件)

(4) 自治体関係者

- ・ 全国の消費生活・生涯学習窓口へ、講師派遣の案内文を郵送。(1,675箇所)

5. 階層別啓発活動の検討と実施(2/5)

学校保健・衛生関係 関連学会への参加状況

	H24年度 実績	H25年度 実績	H26年度	
			実績	3月実施
学校保健関連				
ランチョンセミナー	1	1	3	0
出展	3	6	7	0
広告	1	5	9	0
折込	2	3	2	0
			21	0

計画より
1増※

合計 7回 → 15回 → 21回

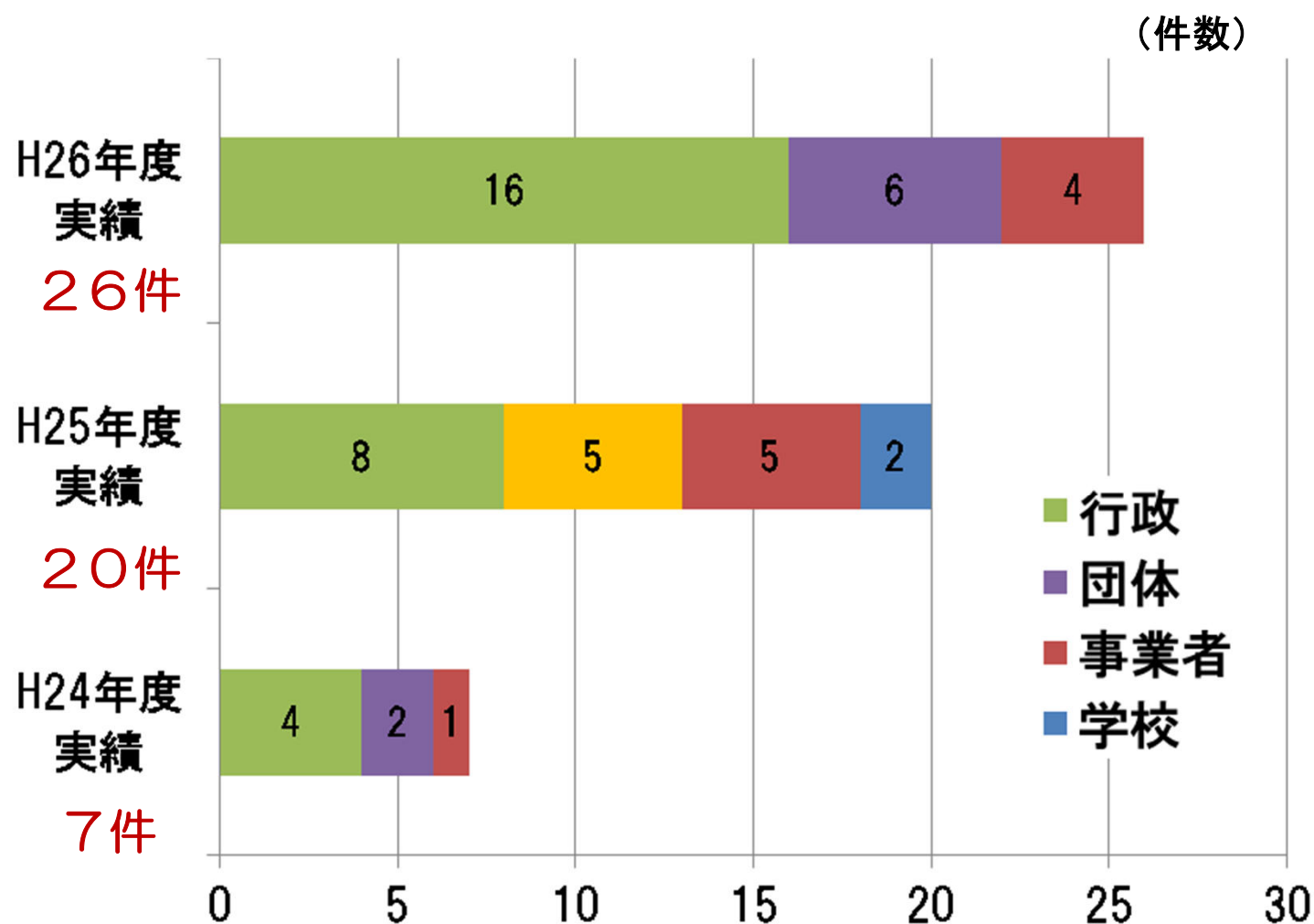
衛生関係				
ランチョンセミナー	1	2	4	1
出展	2	2	1	
広告	1	2	6	1
折込				
			11	2

合計 4回 → 6回 → 13回

※全国養護教諭連絡協議会に出展で参加(抽選が当選)。

5. 階層別啓発活動の検討と実施（4/5）

行政等からの講師派遣依頼等への対応状況



5. 階層別啓発活動の検討と実施（5/5）

電磁界に関する妊婦の知識啓発検討会の検討状況

超低周波電磁界等の健康影響について、妊婦の過大な不安を払拭し、正しい理解促進に繋がるような知識啓発活動が重要と考え、日頃、妊婦と接する機会が多い医療・保健関係者を委員とした検討会を設置し、妊婦向けに電磁波に関して分かり易く解説するパンフレットを作成している。

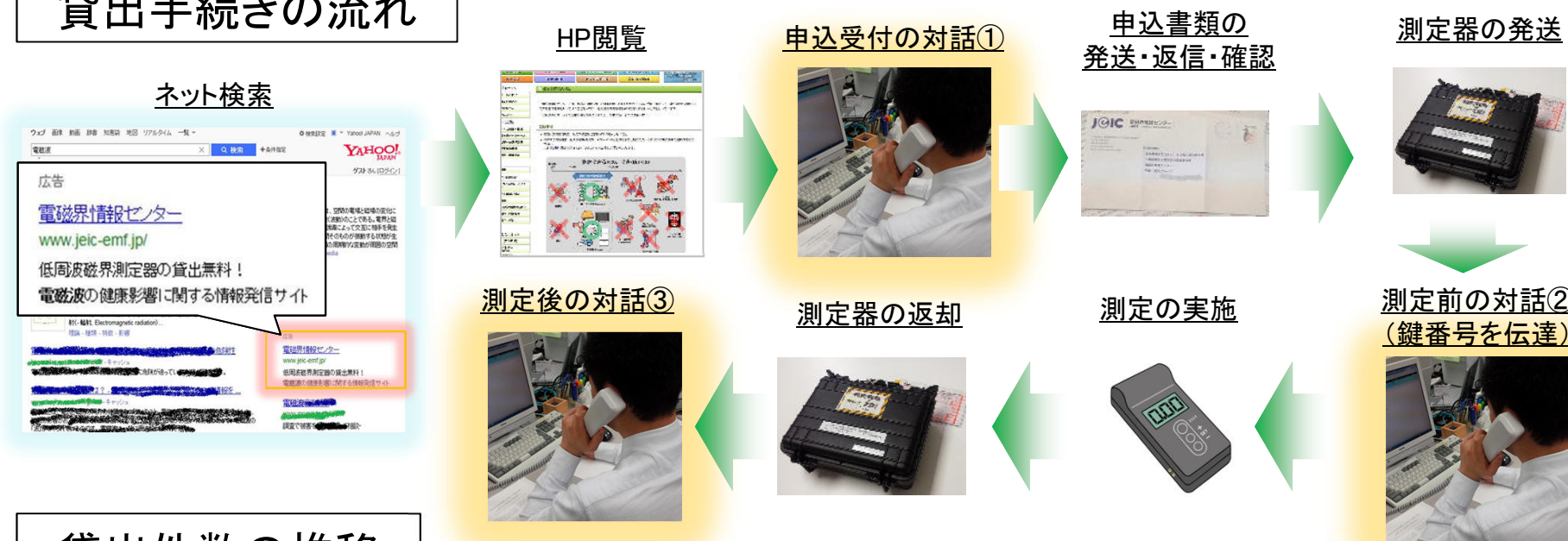
現在、プロトタイプのパンフレットが完成し、妊婦へのアンケート調査を通して改善箇所等の洗い出しを行い、パンフレットの完成に向けて、引き続き検討会を継続する予定。

検討概要

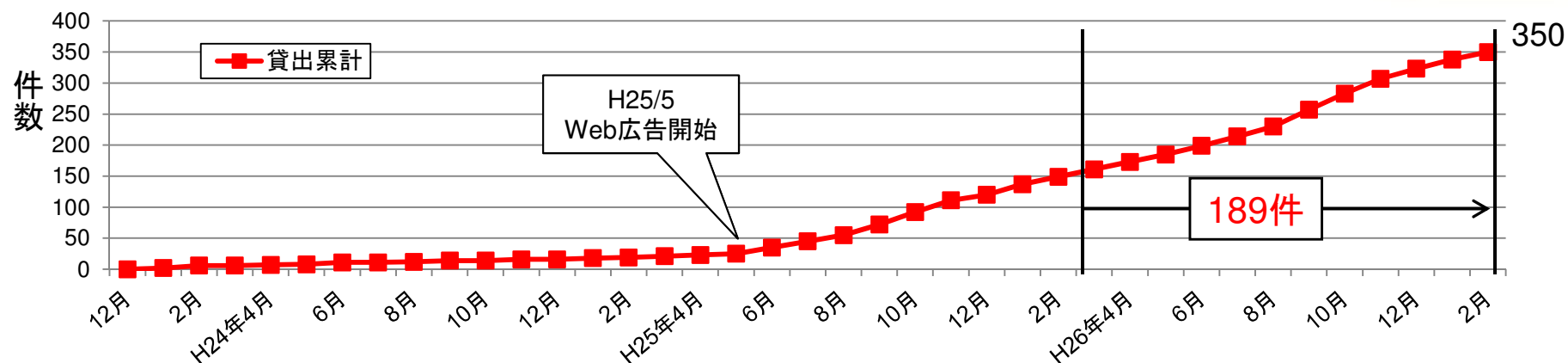
1. 検討期間：平成26年3月～平成28年3月（約2か年を予定）
H26. 3. 17第1回検討会、H26. 10. 20第2回検討会、H27. 1. 14第3回検討会
2. 検討体制：母子保健関係者など 6名
3. アウトプット
 - ①妊婦向けの電磁界と健康リスクに関するパンフレット
 - ②伝達ルートの確立
4. 配布場所：産科医院、保健所、自治体等

6. 磁界測定器リスク・コミュニケーション状況 (1/2)

貸出手続きの流れ

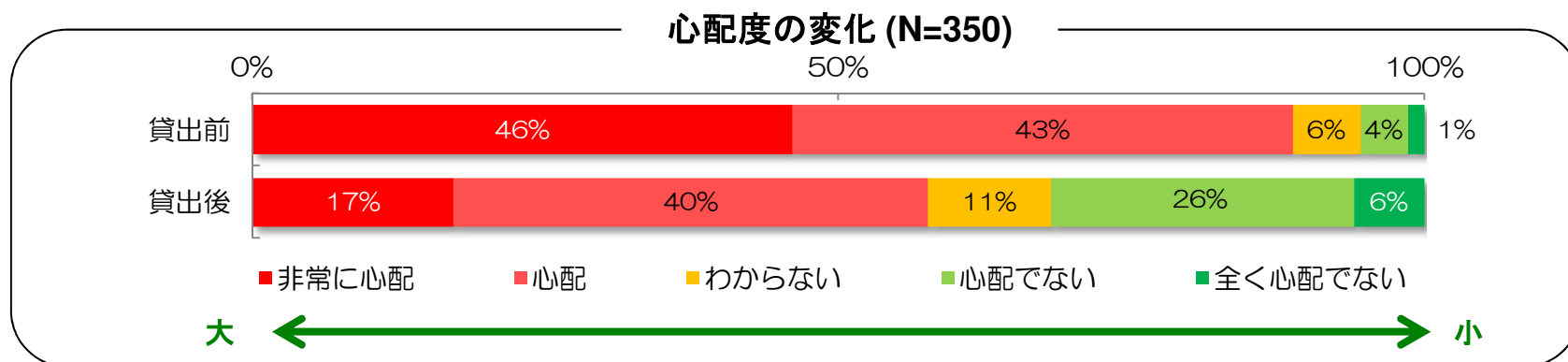
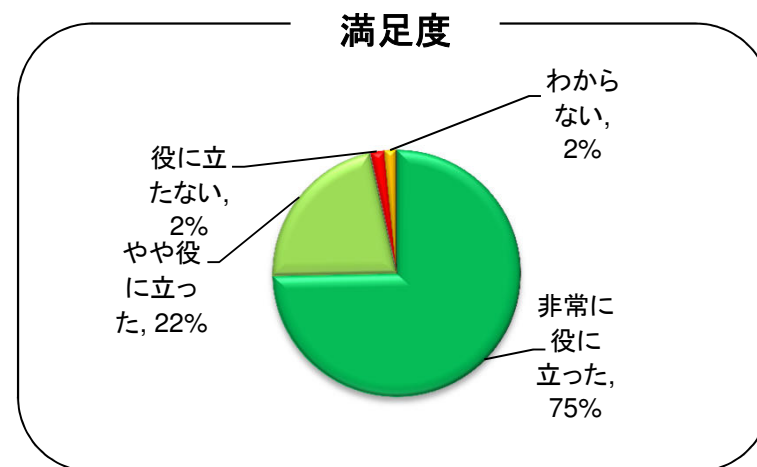
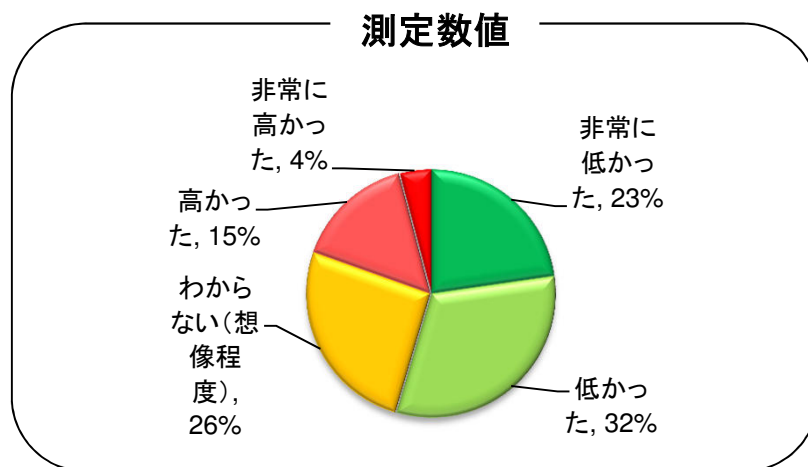


貸出件数の推移



6. 磁界測定器リスク・コミュニケーション状況 (2/2)

アンケート結果による評価



自ら測定した結果に基づくコミュニケーションは満足度が高く、電磁波に対する過度な心配は和らぐ傾向。